令和5年度　高山市立　久々野小学校　学校経営の重点及び自己評価　　校長　　石地　千佳子

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	育てたい資質・能力	基本施策との関わり		本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点（手立てとしてどうか、または達成度はどうか）	評価A～D	分析と改善点
重点・挑戦し続けるたくましさの育成 方針・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学びを実感できる授業への挑戦 ②「なりたい自分」へ向かう個の見届け・一人ひとりの子に居場所をつくる ③地域との協働・地域社会への発信 ④生き生きと働ける学校づくり	かしこく　なかよく　たくましい　久々野っ子	主体的に課題解決に取り組む態度の育成　～よりよい自分をめざして～	太い学びをする子の育成	①	主体的に課題解決に取り組む態度の育成 （基本的な学び方の定着 教科の学び方の取得）	・単元末からのねらいを明確にした授業づくりを行う。	A	○単元で学ばせたい内容から学習計画を立て、単元の出口が明確になったことで、単位時間の課題意識の高まりがあった。 ○自己決定の場では、一人学びで解決の方法を選択できるようにしたり、交流の場では、ペア、スクランブル、タブレットを使った交流をしたりすることで仲間の学びのよさを実感できるようになった。 △自分の考えを伝えるための話し方、仲間と学ぶことで高まろうとする意欲の両面を鍛えていく。 △今後もICTの活用方法の交流をし、有効な活用方法について検討をしていく。
					①		・児童の「解決したい」意識が高まる学習課題を工夫する。	B	
					①		・課題に対して自分の力で取り組み、自分の考えをもつ指導を行う。（自己決定①）	B	
					①		・見方、考え方を広げる仲間学びの場の指導を行う。（自己決定②）	B	
					①		・学習したことをまとめ、自己評価する場の設定をする。（自己決定③）	B	
					①	学力の定着 （個々の力を伸ばす）	・児童が主体的に取り組むための家庭学習を工夫する。	B	
					①②①		・単元末テスト、漢字算数大会で定着度の確認をし、学びに活かす指導を行う。	A	
					④①②		・授業でのICT活用の効果的な方法を交流し、共有する。	B	
					①		・学びの姿のよさ、学びの広がり、深まりを価値づける。	B	
				互いの人権を尊重する学校	②	自他の人権を 大切にする意識の向上	・互いのよさや努力を伝え合い、認め合う場の設定と指導を行う。	B	○縦割り活動を通して、高学年の低、中学年への関わり方を指導し、活動をうまく進めるために何をすべきかを考えさせることによって、関わり方がより丁寧になった。 ○小さな変化を見逃さず、即時報告や相談を徹底した。管理職や生徒指導、学年職員と連携しながら、起きたことについて迅速かつ、適切に対応することができた。 ○指導、支援した内容を職員で共有し、次の指導の方向性を確認しながら個々の指導を行った。 △学習室での過ごし方、よりよい支援の在り方についての確認と検討を継続していく。
					②		・縦割り活動を通して異年齢の仲間との適切な関わり方の指導と支援を行う。	A	
					②③		・挨拶や感謝を伝えることを通して、気持ちを伝え合うことの大切さを意識づける。	B	
					②④	安心安全な生活づくり	・児童やアンケートから得た情報の共有と迅速な対応を行う。	A	
					②		・いじめを許さない指導、早期対応、保護者対応を組織で行う。	A	
					②④		・「心のサポーター」を活用して連携した対応を行い、児童に安心感をもたせる。	B	
					④		・命を守る訓練を通し、「自分の命は自分で守る」意識を高める。	A	
					②	個の特性に対応する 支援体制づくり	・支援の研修、情報交流を行い、児童の特性を共通理解して適切な支援を行う。	B	
					②		・継続的な支援を組織で確認して行い、適正な就学指導につなぐ。	B	
				願い・努力・達成感のある学校	①②	自分（達）のよさを伸ばし 粘り強く取り組む子の育成	・全校行事や縦割り活動で願いをもつ場、中間振り返り、自己評価の場を設定し、互いの成長を認め合う指導を行い、よい姿を価値づける。	B	○定期的に振り返りをし、できたことや課題を明確にすることで、成長を確認し次の目標を考えることができた。 ○学年ごとの地域とつながりのある活動を通して、地域の方と関わったり、体験をしたりすることで地域のよさを感じさせることができた。 △ステージごとの成果と課題を、日常生活の指導にさらに生かせるようにしたい。
					①②		・ステージごとに成果と課題を振り返り、次の目標や見通しをもたせる。	B	
					③④	地域への愛着と誇りを 持たせる郷土学習	・地域の方々から地域のよさを学び、考え方や生き方にふれる場を設ける。	A	
					①③		・栽培、地域学習を通して学んだことや考えたことを発信する。	B	

学校運営協議会における主な評価内容	・「なりたい自分」に向けて取り組んでいることが、これからも子どもたちの成長につながっていくとよい。 ・家庭教育の取組で学校で行ったことが、家庭でいきるようにしていくことができるとよい。 ・挨拶を通して、先生や親以外の地域の方との関わりが増えていくとよい。